

うれしかったこと

所用時間

55分

対象

小学校低学年～

ねらい

○人からしてもらって特にうれしかった言葉や行動などを振り返り、その理由を
発表し合うことを通して、互いの存在の大切さを再認識できる。

準備

のり付き付箋紙（7cm×7cm くらいのを、人数分×10枚程度）
画用紙（班で1枚）ワークシート「うれしかったこと」筆記用具（個人）

進め方

導入

10
分

展開

35
分

振り返り
10分

- 1 アイスブレイクを行い、グループを作ります。
○1つのグループが6人ぐらいにようになります。
- 2 人からしてもらって特にうれしかったことを、付箋紙1枚につき一つ書いてもらいます。（5分）
発問：「最近、言われて特にうれしかったこととか、してもらってうれしかったことなどはありませんか。他の人がうれしそうに見えた、ということでもいいです。そのようなことを、付箋紙1枚に1つずつ書いてみてください。理由もしっかり書いてください。」
- 3 一人ずつ、付箋の内容を読み、画用紙に貼っていきます。（15分）
発問：「一人ずつ付箋に書いた内容とそのわけを1つだけ発表して、画用紙に貼りましょう。班の全員が1枚目の発表をしたら、2枚目の発表をしましょう。後で、グループごとに発表してもらいます。」
- 4 グループ内で感想を出し合い、全体で発表するエピソードを決めます。（10分）
- 5 グループで出された内容を簡単に紹介します。（5分）
- 6 感想をワークシートに記入します。感想を発表してもらいます。

留意点

- 付箋紙の代わりに、ワークシートを使って活動を行うこともできます。
- 出された意見に対して、評価や批判をしないようにしましょう。思いついたことがらをどんどん書いてもらいましょう。
- うれしかった「言葉」うれしかった「行動」について、グループのメンバーによって、家庭でとか、学級内でのいうように場面を絞って考え、話し合うことも効果的です。
- ここで作った付箋紙をもとにして、人権標語を作る活動につなげることもできます。

うれしかったこと そのわけ

うれしかったこと そのわけ

うれしかったこと そのわけ

うれしかったこと そのわけ

うれしかったこと そのわけ

うれしかったこと そのわけ

感想
